

Vita-min

the Station for Vitalizing Your Challenging Mind

vol.4

高知で活躍する 女性研究者 ロールモデル集

高知大学 男女共同参画推進室
男女共同参画支援ステーション





高知大学 理事
(ワークライフバランス担当)

宮井 千恵

現在、我が国は、諸外国に例を見ない超少子高齢社会へ突入し、家族の形、地域・社会そして職場における働き方等にもますます大きな変化が生じております。このような社会の変化に対応できる豊かで活力ある社会を実現するために、男女共同参画の視点が重要であることは言うまでもありません。特に、学知の探究の拠点である大学には教育、職場環境における男女共同参画を阻害している社会が抱える多面的な課題の解決に向けて積極的に取り組むことが要請されています。また、男女共同参画社会の実現にあたっては、行政機関、教育・研究機関、民間企業をはじめ地域の皆さんとの協力が欠かせません。

高知大学は、「男女共同参画の基本理念・基本方針（平成24年2月制定）」を設けて、男女共同参画を大学で実践し、教育につなげ、そして社会に広げるといった基本的な考えのもと、男女双方にとって、働きやすく学びやすい場、個性と能力をよりいっそう発揮できる場を形成することに努めております。

また、四国国立5大学及び公設研究機関等が申請した平成30年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）」に採択され、『四国発信！ダイバーシティ研究環境調和推進プロジェクト』が立ち上がり3年目になります。

この取組の一環として、高知大学は高知県で活躍する多様な研究者を紹介するロールモデル集を作成しました。今回は高知県の大学、公設研究機関そして企業において活躍する女性研究者・技術者に焦点を当てています。本ロールモデル集をきっかけに、地域の研究者の連携の機会を広げるとともに、次世代を担う若者が地域の多様なロールモデルを知る機会となりましたら、これ以上の喜びはありません。

＼ 四国発信！ ／

ダイバーシティ研究環境調和推進プロジェクト

四国地域の問題・課題解決につながる研究から、世界の人々への貢献に発展する研究を目指し、四国地域の産官学9機関が連携して、女性研究者や若手研究者の挑戦の場を広げるとともに、女性研究者の裾野拡大や若手研究者の育成、研究者のライフイベント及びワーク・ライフ・バランスに配慮し、女性研究者のマンパワーを質的量的に増加させ、男性を巻き込んだ総合的なキャリアマネジメントに向けて、「四国発信！ダイバーシティ研究環境調和推進プロジェクト」を展開する。

目標・行動計画

■3つの目標

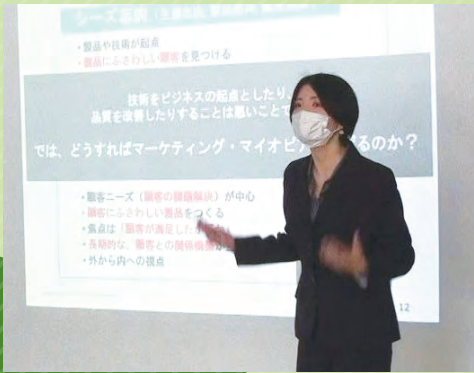
- 目 標 1：研究力向上を図り、優れた研究成果の創出につなげ、女性研究者の活躍の場を広げる。
- 目 標 2：女性研究者の増加及び上位職への登用を推進する。
- 目 標 3：研究と生活の調和を図る。

■行動計画

- プロジェクト1：女性研究者が牽引する地域イノベーションリサーチシーズの形成
- プロジェクト2：ハイ・ポテンシャル人材育成
- プロジェクト3：研究と生活の調和

－ 目 次 －

磯田友里子(高知大学 人文社会科学部)	3
坂本 智香(高知大学 学生総合支援センター)	5
笹岡 美穂(高知大学 海洋コア総合研究センター 短期研究員)	7
佐藤 洋子(高知大学 地域協働学部)	9
満行 知花(高知大学 理工学部)	11
山崎 慶子(高知大学 医学部)	13
小林 智子(高知県立農業大学校)	15
森田 沙知(株式会社山崎技研 カツオ養殖プロジェクトリーダー)	17



磯田友里子

いそだ ゆりこ

◇人文社会科学部 講師

略歴
法政大学経営学部卒業。同大学院経営学研究科修士課程を修了後、早稲田大学商学研究科博士後期課程に在籍。早稲田大学商学学術院助手を経て、現在に至る。

研究に携わる仕事を指す 学生へのメッセージ

研究の出発点は疑問を持つことです。大人になるにしたがって、「これはこういうものなんだろう」となんとなく納得してしまうことが増えてきますが、ぜひこの感覚に挑戦してほしいと思います。当たり前だと思うことにこそ、新しい発見が隠れているかもしれません。ちょっとした違和感を大事にしてください。

Q1.教育・研究に携わるようになった経緯はどのようなことですか？

大学2年生のとき、ゼミの先生に学会に誘われたことがきっかけです。当時はみんな就活を意識し始めるころでしたが、私は就活そのものに疑問をもってしまい、モヤモヤを解消できずにいました。そんな折に興味本位で参加した学会でしたが、私が普段慣れ親しんだ教育者としてではなく、純粋な研究者としての先生方の情熱的な姿や会場全体の熱量に圧倒され、「私もこの場の一員になりたい、志を持った研究者になりたい」と強く感じました。

Q2.研究の魅力はどのようなところですか？

新しさが求められ、多様性が認められることです。突拍子もないように見えるアイデアでも、これまでの研究の積み重ねから慎重に導かれ十分に検討されたものであれば、評価されるとともに仲間と一緒にその発見を喜んでくれます。この新しさと多様性が同時に研究の苦しさでもあるのですが、苦しさ乗り越えた末に、今までにないものを自分の名前ですべてに送り出していく達成感があります。意外と地味な作業が多い研究活動ですが、その一瞬のために努力を重

ねています。

Q3.現在の研究および生活

私は高知大学に着任して1年ちょっとになります。担当授業のデザインなど、初年度は教育業務に割く時間が多くありますが、少しずつ要領を得て、研究時間を確保できるようになってきています。根を詰めて疲れた時は、コーヒーを買ってキャンパス内の木の下で一息つくことも。面白い研究アイデアを思いつくのは、大体こうしたほっとする時間です。

私の研究対象は消費者行動です

今日の失敗は来年の笑い話

が、これは自分や身近な人の普通の振る舞いに研究のヒントが隠れているということでもあります。ふと見た広告やSNS上のつぶやき、何気なく商品を手取る行動に、消費者の本音が見え隠れています。こうした小さな事柄を見逃さないためにも、意識的に色々な事に興味を持つようにしています。

体いくらなのでしょう。忙しい人は、時間を節約しようと時短家電を購入します。けれども、それで節約された15分を、一体何に使っているのでしょうか。時間はお金と同じく消費者が持つ資源であり、それがどのくらいあるかによって買いたいと思うモノやサービスが異なってきます。このように、消費者の時間の使い方が購買行動に与える影響を研究しています。

るようにしています。私はバイクに乗るのが趣味なので、最低月に1回はツーリングに行くだけの日を確保しています。まとまった時間が取れなくても、20分あればゆったりコーヒーを淹れたり、10分あれば軽い運動をします。時間配分の研究をしていながら、仕事もプライベートも100点満点の1日を過ごせることはほとんどありません。それでも、そんな日もあると図太く開き直り、研究を続けていくことが大事だと思っています。

Q4.ご自身の研究について小中学生にも分かるように一言でいうと

「時は金なり」という言葉は有名ですが、本当にそうでしょうか。「時間をお金で買う」とも言いますが、では1時間は一

Q5.日常で大切にしている時間はどんな時ですか

自分のためだけの時間を意識して取

磯田友里子のとある一日

5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	1	2	3	4	
			起床、軽い運動、朝食	家事、メールチェックを済ませて文献レビュー	出勤、研究	授業準備		昼食	授業		今回の授業準備や学生対応		買い物、帰宅	家事	夕食	自由時間、夫と海外ドラマを見る、犬と遊ぶなど	寝る準備、明日の予定確認など		就寝					



坂本 智香

さかもと ちか

◇学生総合支援センター

略歴
 高知大学教育学部中学校教員養成課程 卒業/神戸大学総合人間科学研究科博士前期課程コミュニケーション学専攻 修了/神戸大学総合人間科学研究科博士後期課程コミュニケーション学専攻 修了/関西の中高大学で非常勤講師、結婚、出産
 現在は学生総合支援センター修学支援ユニット講師

研究に携わる仕事をを目指す学生へのメッセージ

専門外であってもいろいろな研究や教育に関わって視野を広げましょう(院生時代にコーパス言語学や英語教育の研究で統計について学び、アカデミック・ライティング教育・研究に関わった経験が、現在のセンター業務や研究にとても役立っています。院生時代の良い思い出にもなっています)。そして、良い意味で図太くなりましょう(笑)。恩師に「もっと図太くないと研究できないよ」と常々言われていました。母親になって、歳をとって、やっと少しは図太さが身についた…かなあ?

Q1.教育・研究に携わるようになった経緯はどのようなことですか?

もともと、英語の文法になぜかとても興味がありました。現在のメイン業務であるアカデミック・ライティング教育・研究は、学生の頃に大学院の先輩から「私の代わりに非常勤講師を引き受けてもらえないか?」と頼まれて引き受けたのがきっかけです。

Q2.研究の魅力はどのようなところですか?

難しいパズルが解けた時のような達成感が味わえること(私は考えたり書い

たりするのがとても不器用で苦手なので、なかなか味わえないのがつらいところ)。

Q3.現在の研究および生活

専門としての日本語文法の研究は、「名詞」や「数量名詞」を使ったいろいろな表現(例えば、「それも一つの選択肢です」など)について、どんなルールがあるのか、なぜこの言い方は良くて、この言い方はダメなのかを明らかにする研究をしています。こちらはセンター業務とはまったく(笑)関係がないので、主に自宅で取り組んでいます。

センター業務であるアカデミック・ライティング教育に関する研究としては、レポートや論文で議論を構築する際に、学生がどのようなことを苦手としていて、どのような指導をあげるとよいのか等について研究しています。こちらはセンター業務の修学支援の1つになるので、日中に研究室で取り組むことが多いです。

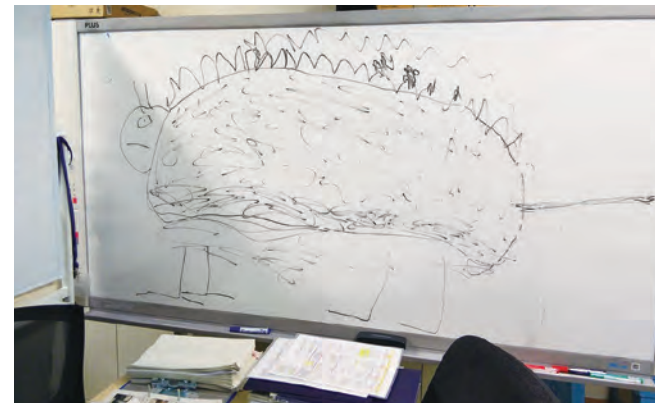
不器用でも腐らず前に進む

Q4.日常で大切にしている時間はどんな時ですか

子どもに絵本を読み聞かせたり、子どもからの質問(最近「これはなんと読むのか?」という質問が多い)に対応したりする時間を大切にしています。

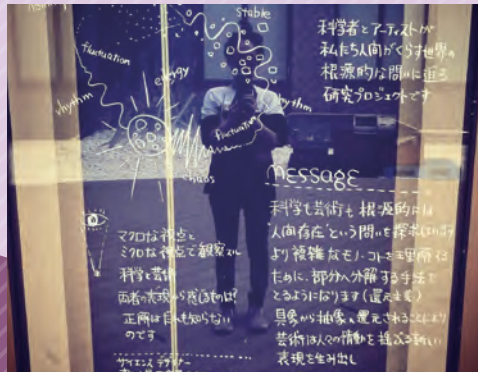
また、子どもが身支度を整えたり、片付けをしたりするのを一緒に手伝ったり、見守ってほめてあげたりする時間も、大切にしています。

子どもの「〇〇できたよ!」の瞬間に立ち会えると、仕事の疲れも吹き飛びます。



坂本 智香 のとある一日

5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	1	2	3	4
	家事			出勤して仕事や研究のしごと			昼食・休憩後、仕事や研究のしごと						帰宅	夕食	入浴		子どもと一緒に就寝						起床して仕事や研究のしごと



笹岡 美穂

ささおか みほ

◇株式会社 SASAMI-GEO-SCIENCE (代表取締役・サイエンスデザイナー)
◇高知大学海洋コア総合研究センター (短期研究員)

信州大学大学院修了。山梨県立科学館、産業技術総合研究所(つくば)、御船町恐竜博物館、JAMSTE高知コア研究所、高知大学海洋コア総合研究センターでの地球科学分野のテクニカルスタッフを経て、現在「余白」のサイエンスデザインに関する研究と仕事をしています。

研究に携わる仕事をを目指す学生へのメッセージ

人の細胞が日々更新されるように、日本の風土が諸行無常であるように、私たちの思考や行動も環境と作用し合いながら変化し続けます。しかし、人間の探求活動の本質は過去も今も未来も不変「生きる」です。本質は変わらない、つまり獲得した知識や経験により「私」がまどうモノの厚みが変化し、見え方が変化しているように感じるだけ。生きた研究とは、「私」がまどうモノの厚みを変化させることかもしれません。

Q1.教育・研究に携わるようになった経緯はどのようなことですか？

大学進学直前まで芸大を目指していましたが挫折。その時に出会った地質科学という未知なるサイエンスの世界へ進学しました。大学院修了後も地球科学の専門的な仕事を約10年続けました。30代半ば、積み重ねた学術的知識でしか語れなくなっている自分が「つまらない人間」と気づいたのが転機となり、科学・芸術・哲学の総合的な視点で情報をデザインすることに興味を持ちました。以後、独学でサイエンスデザインを開拓してきました。

Q2.研究の魅力はどのようなところですか？

私のサイエンスデザイン研究は、先例も正解もゴールも無い純粋な探求活動です。産業革命以降、私たちを取り巻く情報は爆発的に膨張し続け、人間の探求活動は細分・先端化し、気づかないうちに思考は意味や目的に支配されてきました(情報の構築)。私はその逆方向のベクトルに魅力を感じています。つまり、情報の構築物を解体し、本質と余白(思索する余地)を組み替える(デザイン)作業です(情報の解体)。

Q3.現在の研究および生活

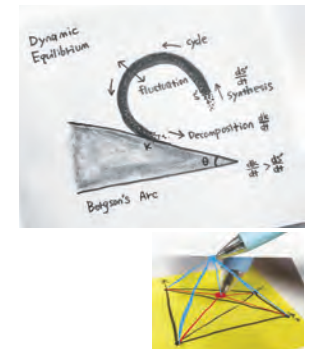
高知大学の短期研究員として2018年から「科学と芸術の対話」というプロジェクトを始めました。これは、科学の研究施設に現代アート作家を呼んで研究者と対話の場を設けたり、作家が一定期間滞在して研究者と対話しながら芸術作品を制作する「アーティスト・イン・レジデンス」を実施したりしてきました。これらから見えてきたものは、地球科学と芸術は探求手法や思考方法が似ていること、そして両者は最終的な表現方法(情報のアウトプット)だけが異なっているということです。

ヒトは1つずつ「気づいていく」だけの人生 余白のある人生を!

今後は、情報デザイン(アウトプット、表現方法)の可能性を「余白」「遍在」「知覚」という観点(アフォーダンス)から深く探っていきたいです。

くなります。本当に大事な「意味(多義的)」は後から解るとも言えます。さあ、余白をみつめて自身で考える行為をしてみましょう。

対話する時間などがそれです。



Q4.ご自身の研究について小中学生にも分かるように一言でいうと

私は「余白=気づき=学び」の装置を作って(デザイン)います。子どもの視点や行動の多くには大人が求める「意味」はありません。それが「余白」です。例えば、「すぐに解らない情報」「間違える行為」には様々な気づきが潜んでいて、その気づきが多いほど生きる意味が濃

Q5.日常で大切にしている時間はどんな時ですか

余白の時間を持つことです。現代人は、日々押し寄せる情報や意味に追われ、「生きる」意味が薄くなりがちです。そういったものを一旦遮断して、非効率なことや無意味な行動を試みる。そうすることで、人として「生きる」意味が濃くなると実感できます。私の場合、朝の抹茶と

笹岡 美穂 のとある一日

5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	1	2	3	4	
		起床朝食(ラジオを聴きながら)、抹茶と対話する時間	家族が出動(登校後に家の掃き掃除)	出勤メールチェック・返信など	描き仕事、書き仕事	移動	SNSライブ配信(30分)、昼食	打ち合わせ 今後のスケジュール調整	移動	おやつしながら脳内メモ(アウトプット)	読み物(インプット)	夕食準備(脳内で構想しながら)	夕食家族と対話(片付けは各自洗濯は気付いた人やる)	テレビで1日のニュースチェック	オンライン研究会参加(分野は多岐)	脳内メモ整理、描き仕事	描き仕事	読書	就寝					



佐藤 洋子

さとう ようこ

◇地域協働学部 講師

略歴

広島大学総合科学部卒業、同大学院総合科学研究科博士後期課程修了。博士(学術)。大学院在籍中に大学の男女共同参画担当の職員として働き始める。名古屋市立大学女性研究者支援室特任助教、同大学男女共同参画推進センター特任助教を経て、2016年4月より高知大学地域協働学部助教。2020年4月から同学部講師。

研究に携わる仕事をを目指す学生へのメッセージ

私は高校生の頃は学校の先生に、大学生の頃は女性労働に関わる仕事をしたいと思っていました。そのときには方向転換したりあきらめたりしましたが、結果的にいま両方を得ています。研究に携わる仕事を目標とすると、よっぽどの方でない限り、悩んだり迷ったりすると思いますが、悩んでまわり道をするのも必ず自分の糧になります。またどうしても迷ったときは、自分がわくわくする選択肢のほうを選ぶことをおすすめします。

Q1.教育・研究に携わるようになった経緯はどのようなことですか？

「逃げ遅れてもがいていたら運良く今の仕事にありつけた」というのが正直な気持ちです。就職に失敗してなんとなく大学院に進学。30歳を前にして自分自身が経済的に自立できていないことに悩み、また研究より実践的な場に身を置いてみたいと思って大学の男女共同参画担当の職員になりました。その仕事や指導教員を通じて関わった調査研究での出会いの中で、徐々に教育・研究にこの先も携わっていきたいと思うようになりました。

Q2.研究の魅力はどのようなところですか？

自分は研究に向いていないと思いつつももう少し頑張ろうと思ってこの道を進んできたのですが、ここ数年ようやく研究がおもしろいと思うようになりました(遅いですね)。私はインタビューなどの調査を通じて物事を考えていく研究スタイルをとっていますが、お話をうかがう中でそこにある問題が目の前に浮かび上がってくる時にはワクワクしますし、そしてそれを自分の言葉や文章で発表できることが魅力だと感じています。

Q3.現在の研究および生活

これまで地方都市を転々としてきたという自分の経験から、地方における女性の働き方に関心を持ち調査研究をしています。高知に来て5年が経ち、高知での調査フィールドもできました。学部教育では、2020年からこち男女共同参画センター「ソレ」に実習でお世話になることになり、自分の研究テーマを教育に加え地域社会にも還元できる機会が増えたことに喜びを感じています。大学での研究・教育の他にも、SOGIに関する勉強会に参加したり、地域の方も交えた読書会をしたり、フラワーデ

悩んでまわり道することも悪くない

モに参加したりもしています。ただ地域協働学部は実習など授業がとても多く、授業期間中に腰を据えて調査や論文執筆に取り組むことが難しいのがちょっと悩みです。

向き」とされる仕事はどのように変わってきているのか。そういったことに関心を持ち、企業や農林業で働く人々にお話を聞いたりアンケートをとったりして研究を進めています。

ウォーキングですが、無心で歩いていると研究室や自宅にいるときよりも研究や授業についてのアイデアが浮かぶこともあり、なかなかいいなと思っています。

Q4.ご自身の研究について小中学生にも分かるように一言でいうと

みなさんは「この仕事は女性向き／男性向きだな」と思ったことがありますか？現在の日本社会では性別によって就く仕事や働き方が異なります。それはなぜなのか。また最近「女性の活躍」と言われる中で、「女性向き」「男性

Q5.日常で大切にしている時間はどんな時ですか

2020年春に新型コロナウイルス感染症が流行して在宅勤務を始めたことを機に、朝のラジオ体操とストレッチ、夜のウォーキングを日課にするようになりました。在宅勤務を終えた今でも続けます。運動不足解消のために始めた



佐藤 洋子 のとある一日

5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	1	2	3	4	
		起床	朝食後ストレッチ、授業準備など	メールチェック、授業準備など	授業		昼食	授業準備や打ち合わせ、またまとめる時間がある場合、研究		授業		授業準備 研究など			帰宅夕食	ウォーキング	入浴	読書など	就寝					



満行(加藤) 知花

みつゆき(かとう) ちか

◇高知大学総合科学系黒潮圏科学部門
理論生物学研究室 短期研究員

略
歴

愛媛大学卒業、九州大学大学院一貫制博士課程修了。博士(理学)。学振(DC2)、九州大学学術研究員の後、東北大学特任助教。妊娠、出産に伴い2018年から高知大学短期研究員。

研究に携わる仕事をを目指す 学生へのメッセージ

理学系の研究者を目指す女子学生へ。女性に限った話ではありませんが、特に女性は研究者を目指す中で結婚や出産を考えて悩んだり、大きな決断をしなければならない時が来るかもしれません。理学系は男性が多く、悩みを共有できる人が周りにいないこともあります。難しいことですが自分の気持ちを何よりも大切に、5年先、10年先を想像してそのための挑戦を続けてください。あなたの大きな夢が現実になることを応援しています。

Q1.教育・研究に携わるようになった経緯はどのようなことですか？

小学1年生から5年間植物採集を続けるなど、動植物と関わることが好きな子供でした。そのため「将来は研究者だね」と度々言われましたが、研究職が想像できませんでした。大学で知った研究者の仕事は、英語論文の読み書き、大人数の前での発表…私の苦手な事ばかりかと思えました。しかし全力で考えたこと、やったことが評価されるのは快感で、大学院卒業の頃には苦手だった事も多くは楽しい時間になっていました。

Q2.研究の魅力はどのようなところですか？

研究から少し離れて気づいた事です。[研究者の世界]が私はとても好きです。教授も学生も関係なく一人一人が研究者として尊重されます。私の研究分野では学生も教員を「さん」付けて呼ぶことが多いですし、教授が自身の研究について学生や若手研究者から意見をもらうこともよくあります。若手でも対等な研究者として尊重される分、責任もあるし、やった分だけ正当に評価されることが多い世界なので、やりがいのある仕事です。

Q3.現在の研究および生活

現在は1歳児の子育て中心の生活です。毎月高知一宮城を往復して仕事していたので、妊娠して移動が難しくなり、無給の研究員になりました。念願の子供に幸せいはない一方、妊娠中、出産後は研究職復帰への不安が募りました。そんな時、大抵1通のメールが来ます。その多くは研究相談や解析方法の相談(前職で他大学の研究者向けに新しい遺伝解析方法の講習をしていたため)、その他、投稿論文の修正や査読依頼などです。研究の事を考えはじめると不安が消え前向きになります。その

研究を心の支えに、今は育児に奮闘中！

繰り返しの中で自分のやりたい事や将来像が明確になりました。育児中でもできることがあります。最近は何もできるようになったので復帰に向けて動き始めました。

Q4.ご自身の研究について小中学生にも分かるように一言でいうと

近年、数千万～数億の遺伝子配列が一度に読める次世代シーケンサーという機械が広がり、遺伝解析の研究は大きく変わりました。この機械を使った解析方法の一つMIG-seq法は、どんな生物でも沢山の遺伝子を同時にPCR(遺

伝子増幅)、数百個体の遺伝的な違いや親子判定、過去の進化の歴史などが数日で解析できる驚きの方法です。私は合計48種類の植物、動物、微生物についてMIG-seq解析を行い、解析方法の改良を考えてきました。

Q5.日常で大切にしている時間はどんな時ですか

この1年間は子育てに加えて新型コロナウイルスの感染拡大で予定していた実験がなくなるなど、日常が大きく変わりました。最近は何週大学へ行く日を作り、研究のことを考える自分だけの時間

を大切にしています。



満行(加藤) 知花のとある一日

5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	1	2	3	4
	起床、朝食、家事	子供起床、育児		子育て支援センター乳幼児の遊び場へ行く			帰宅、昼食準備、子供の昼食	子供の寝かしつけ、昼食	研究関連		買い物、夕食準備、育児		夕食、風呂入れ、家事			子供の寝かしつけ	研究関連		就寝				



山崎 慶子

やまさき けいこ

◇環境医学教室 研究員

略歴
愛媛大学卒業。高知大学大学院総合人間自然科学研究科博士課程在籍。

研究に携わる仕事をを目指す学生へのメッセージ

進路を決めることに不安を抱えることもあるかと思いますが、まずは情報収集を主体的に行ってください。そして新たにスタートを切ることになっても“遅い”はありません。色々な経験を経てから見えてくることも沢山あると思いますので、ご自身のタイミングで行動できる時にチャレンジしてください。

Q1.教育・研究に携わるようになった経緯はどのようなことですか？

新卒で入った製薬企業ではMR(医療情報担当者)として、薬の有効性、安全性等を説明する機会が非常に多かったのですが、データのプレゼンについて面会の度に医学的観点から厳しく指摘くださる先生がいらっしゃいました。その度に情けなさもあり統計的なデータの見方が出来るようになりたい、自分で解析できればと考えていました。第一子産後、高知大学で働く機会があり、公衆衛生学コースの修士課程に入学しました。

Q2.研究の魅力はどのようなところですか？

何が出来るのか、ある程度制限はありますがその中で出来ることを見つけ、それが小さなことであっても数値で表すことが出来る場所です。

Q3.現在の研究および生活

環境省が行っているエコチル調査から得られたデータを使ってニコチンの代謝物であるコチニンを指標に化学曝露が子どもの発達に与える影響を検討しています。特にタバコが従来の紙巻きタバコから加熱式タバコへと移行する

ケースも多く、子どもの尿中コチニンを抽出することで受動喫煙の実態も検討する予定です。

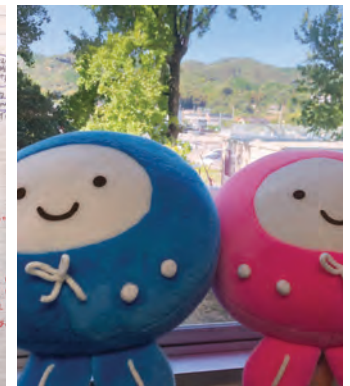
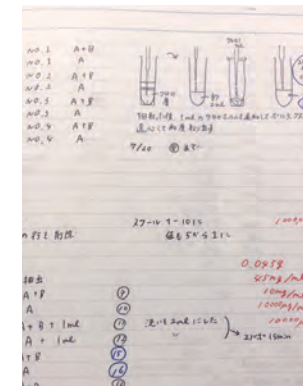
Q4.ご自身の研究について小中学生にも分かるように一言でいうと

他者が吸っているタバコの煙を吸い込むと受動喫煙という状態になります。この受動喫煙には好ましくない健康被害を与える可能性があり、それらの影響がある人とならない人での健康リスクの関連性を調べています。

好きなことを大切に

Q5.日常で大切にしている時間はどんな時ですか

家族との時間です。どうしても向き合う時間は限られてしまうので食後はしっかり子どもたちの話を聞くようにしています。



山崎 慶子のとある一日

5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	1	2	3	4	
	起床	朝食	子ども達を登園させた後、教室へ朝の抄読会参加	業務開始、実験作業等			お昼休憩	解析作業等				業務終了後、子ども達のお迎え	帰宅、夕飯準備等の家事	夕飯入浴、子どもと遊ぶ		子どもの寝かしつけ(そのまま一緒に寝てしまっても)	文献、解析等(寝落ちしなれば)			就寝				



小林 智子

◇高知県立農業大学校 講師 こばやし ともこ

略歴

創価大学文学部社会学科 卒業/民間企業で勤務後、小学校に勤務/出産・子育て中に「食」に関する資格を取得し、代表を務めた子育てサークル・地域行事等で講師を務める/高知大学総合人間自然科学研究科農学専攻修士/災害時の食に関するアドバイザーとして活動/高知県立農業大学校 講師

研究に携わる仕事をめざす 学生へのメッセージ

皆さんの今の決意や思いが、必ず世界のどこかの誰かの役に立つ日が来ると信じて、ぜひ、研究の道に進んでください。研究が進むと、決意や思いが更に深まる。決意や思いが更に深まれば、研究が更に進むはず。もし悩んだら初心に戻り、今、研究できる状況に、研究を後押ししてくれる沢山のの人に感謝して一歩でも前に進んでください。応援しています！

Q1.教育・研究に携わるようになった経緯はどのようなことですか？

家族の影響で幼少期から「食」に強い興味・関心を持っていました。私自身が子育てをする中で、その興味は倍増し独学で勉強して、いくつかの食に関する資格を取得しながら実践していききました。資格を活かし地域行事や代表を務めた育児サークル等でセミナー講師をする中で、更に知識を深め追求したいと考え大学院への進学を決めました。

Q2.研究の魅力はどのようなところですか？

興味のあることについてとことんまで追求できること、また沢山の方と知り合うことができ、予想外の方向に道が開けることも研究の魅力です。実は研究が煮詰り、研究テーマとは少し離れた災害食の開発(地域の課題である害獣としてのシカ肉を活用)をした時期がありました。それがきっかけとなり高知県主催の「シカ肉料理コンテスト」に出品した料理が最優秀賞を受賞。現在、高知県立農業大学校で講義をする際、加工の技術や商品開発に役立っています。

ます。遠回りや無駄に思える事も全て自分の血肉になるのが、研究の魅力だと思います。

Q3.現在の研究および生活

2011年に東日本大震災が発災。避難所や在宅避難の方の食事はどのようにしているのか、自身が被災した場合、家族や地域の人の食事はどうなるのか、そこから「災害時の食」について研究したいと考えるようになりました。大学院では、「災害時炊き出しの担い手」に関する課題とその解決に向けての実践～自主防災組織と食生活改善推進

常に「感謝」の気持ちで進めば、 想像以上の未来を拓くことができます！

員に着目して～」をテーマに研究。沢山の方々の協力と助言を得、県下を調査研究した結果、災害時炊き出しの課題が、またその解決のためには行政や様々な組織が連携し訓練を重ねる重要性が明確になりました。修了後も、大学や自主防災組織、地域のセミナーで講師として調査研究を続けています。現在は高知県立農業大学校で栽培作物を活用した加工品を開発しながら販売の準備を進めています。近い将来、災害食にも発展させていきたいと考えています。

Q4.ご自身の研究について小中学生にも分かるように一言でいうと

高知県でも、大きな地震や災害が起これば今の生活は一変し、過酷な長い避難生活を送ることになるかもしれません。助かった命をつなぎ、生きる気力や復興への意欲をわかせるためには食べることがとても重要になってきます。「炊き出し」は報道でも取り上げられ、避難所での食事として最も喜ばれたとの報告もあるように、重要な要素といえます。若い皆さんが炊き出しの担い手として活躍し、苦しい思いをしている人を支えていただけるよう、私もさらに学び発信

ていきたいと考えています。

Q5.日常で大切にしている時間はどんな時ですか

家族や友人知人と話をする時間と料理やパンを作る時間です。人の役に立つ仕事に就くことを目標に勉学に励んでいる2人の息子や、どんなことも協力してくれる夫、またいつも信じて励ましてくれる友人知人と会話する時間が何よりも大切な時間です。また、家族のために作る料理や、なぜか忙しくなると作りたくなるパン作りも、私の頑張る原動力です。

小林 智子 のとある一日

5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	1	2	3	4	
起床・身支度	新聞を読む・自己研鑽	朝食出勤	授業準備・学生対応	授業			昼休み	学生と卒論についての打ち合わせ		教務事務		学生対応履歴書の添削	帰宅夕食	オンラインの講義を受講		翌日の準備	入浴読書	就寝						



森田 沙知

もりた さち

◇株式会社山崎技研 水産事業部 研究開発室

略歴

高知大学卒業後、入社。
(高知大学理学部(現:理工学部)生物科学科 海洋生物学研究室 卒)

研究に携わる仕事をめざす 学生へのメッセージ

何に対しても興味、探求心、向上心を持つことが大事だと思います。現状に満足してしまえばそこから先には何も進まないと思います。何かをしようとするときにはあらゆる情報を集め、その中から鋭意検討するのが大事だと日々感じます。失敗しても困難にぶち当たってもすぐに辞めようとしなくて、とことん向き合っ、少し休んでまた向き合っ、ちょっと満足できるまで頑張るんです。そこまでいくと、多分「まだまだ物足りない」と考えが変わると思います。

Q1.教育・研究に携わるようになった経緯はどのようなことですか？

私が勤める会社ではマダイなどの海産魚類の種苗生産を行っています。種苗生産とは、親となる魚から卵を採り、孵化させ稚魚サイズまで育て養殖業者の方に販売する、または放流する事業のことを言います。私は周りに山・川・田しかない兵庫県の下田で育ったため、生き物や自然が好きで海に憧れを持っていました。日々川に魚を捕まえに行っていたのを覚えています。大学の在学中に海釣りの趣味を見つけたことから海洋生物学研究室に所属し、進路を決める際に、高知県内・海・生き物・魚

という条件ピッタリの今の会社を見つけ、志望しました。しかし、種苗生産や研究などの知識が一切なかったため、入社後に新たに学んだことがほとんどです。

Q2.研究の魅力はどのようなところですか？

日々育っていく小さな命を間近で観察できることです。ふ化後、数mmしかない仔魚が数ヶ月後には約10cmの稚魚となり、養殖業者さんのもとへ出荷されていきます。そして約2年後に親魚候補として成魚になった子たちが返ってくるというサイクルには感慨深いものがあり

ます。相手が生き物なので、「こうすればこうなる」という絶対的なものが少ないことが、難しくもあり、やりがいを感じられるものでもあります。また、養殖業というのは各地で食糧難に大きく貢献する産業として認識されており、その一角を成すというところには多大な使命感があります。

Q3.現在の研究および生活

養殖魚として強く求められる品質とは、高成長、高耐病性です。そういった素質をもつ「親魚」を選抜し生産に使うことで、そこから生み出される稚魚にその素質を引き継がせようとするもので

現状に満足しない、やるべきことは山ほどある

Q4.ご自身の研究について小中学生にも分かるように一言でいうと

「良い親選び」です。背の高いお父さん、お母さんから生まれた子供は、生まれた時は周りと同じ大きさの赤ちゃんでも、将来両親のように背が高くなる可能性を秘めています。子供は親の素質を受け継ぎ、親と同じような姿・形に成長します。それが「遺伝」です。養殖魚には「良く成長する」「病気に強い」「姿勢が綺麗」という素質(=形質)が求められ、そういった親を選ぶことで将来有望な稚魚を作り出そうという取り組みです。

Q5.日常で大切にしている時間はどんな時ですか

もちろん仕事や家族との時間も大切ですが、何より自分が楽しめる趣味の時間を大切にしています。みんなが寝静まってから気兼ねなく漫画を読んだり映画を見たり、美味しいお酒と美味しい料理を楽しむ時間も好きです。他に、主人が忙しいときを見計らって、母子だけで旅行にいたり地元へ帰省したりするのは割と日常の中でも楽しい時間です。とにかく自分が満足できることや時間を持つことが日々仕事、家事、育児に取り組み原動力になります。

森田 沙知 のとある一日

5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	1	2	3	4
	起床 朝食準備	保育園の送迎 出勤	データ確認	PCR作業	データ整理	データ整理	昼食	データ整理		泳動作業			帰宅 入浴	夕食	家事	自由時間		就寝					

高知大学男女共同参画推進室では、ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブを活用して、研究と生活の両立、ワークライフバランスのとれた研究環境の実現、男女共同参画の推進のため、次のような取り組みを行っています。

① ダイバーシティ研究・職場環境の整備

① 研究支援員制度の実施

研究支援員が研究補助を担うことで、ライフイベント中の研究者が計画的に研究の遂行と生活時間の確保が出来るように支援する制度です。

② 力仕事サポーター制度

女性研究者が妊娠・出産・病気からの復帰（病気からの復帰は男性含む）で力仕事が必要な作業（実験機器の運搬等）を事前登録の力仕事サポーターが支援する制度です。

③ ライフイベントからの復職支援制度

過去2年以内に、ライフイベント（妊娠、出産、育児、介護）のため、休業又は産前・産後休暇、もしくはその両方により、3か月以上やむを得ず研究活動を中断した方の研究を支援します。支援金額：10万円以内（令和2年度）

④ 介護パンフレット『介護に備えちゅうかえ』

高知大学では介護準備のパンフレットを作成し、教職員に配付しています。

⑤ ライフイベント休憩室（SANKAくんのうち）

高知大学朝倉キャンパスの正門から左手にある構クラブ1階に、ライフイベント中の教職員や学生が利用できる休憩室「SANKAくんのうち」が利用できます。授乳、搾乳、おむつ交換、お子さんとの休憩、子育て交流会などに利用できます。利用時間は原則平日9時から16時30分までです。人事課（本部管理棟3階）で鍵を借りて、ご利用いただけます。

⑥ マネジメント・セミナーの開催

⑦ 管理職セミナーの開催

⑧ 男女共同参画意識セミナーの開催

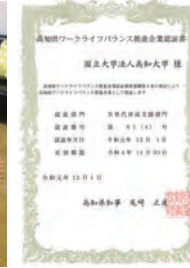
⑨ 女性活躍推進セミナーの開催

⑩ 高知県ワークライフバランス推進企業認証（次世代育成部門）の取得

⑪ 産後ケアのオンライン講座（NPO法人マドレボニータ作成：職員向け講座）



① ワークライフバランス講座



② 女性研究者の研究力向上

① ダイバーシティ推進共同研究支援制度

② 研究交流発表会（四国地域の大学、公設研究施設、企業等の研究交流会）

③ 国際学術論文投稿支援制度

④ 高知大学女性研究者奨励賞の募集

⑤ 英語論文書き方セミナーの開催



③ 裾野拡大

① ロールモデル講演会

② ロールモデル集の発行

③ 若者の働き方に関するセミナー

④ 男女共同参画意識啓発セミナー

④ 地域との連携・協働

① キャリア形成セミナー（こうち男女共同参画センター「ソーレ」共催）

② デートDVセミナー（こうち男女共同参画センター「ソーレ」共催）

③ 認知症サポーター養成講座の開催

④ ニュースレターの発行



これからも、地域と連携して男女共同参画の推進に取り組んでまいります。

女性研究者による優れた教育研究活動の支援に努めます

一 四国内国立5大学による男女共同参画推進共同宣言 一

私たち四国に位置する国立5大学は、地域に根ざした大学として、特色ある世界水準の教育研究を推進するとともに、地域の発展の基盤となる人材の育成、文化芸術、産業、医療等の振興、充実への貢献に努めています。

男女共同参画基本法制定以来10年を経て、産業構造の変化とともに、女性は社会経済活動等に積極的に参画し、性別にかかわらず活躍の場を広げています。特に急速な少子高齢化が進む四国地域では、女性の一層の参画が社会・経済活動等の維持・発展で不可欠となっています。このような中、私たちは、女性研究者、女子学生の積極的な活動は、多様な視点や発想を取り入れ、教育研究活動を活性化し、組織としての創造力を発揮する上で極めて重要であり、より多数の優秀な女性研究者、学生が意欲的に教育研究に取り組むことが各大学、ひいては四国地域の今後の発展に大きく寄与すると認識し、全国の才能溢れる女性が四国の地にいざなわれ、この地で活躍することを強く期待します。

このため、私たちは、各大学において女性が教育研究において一層活躍できる環境を重点的に整備するとともに、次世代を担う女子学生の育成に努力し、さらに、古来より遍路道で結ばれた四国における大学、研究機関、地方自治体、企業、市民との連携を強めることにより、男女ともに個性と能力を発揮できる大学と社会の実現に貢献することを宣言します。

< 私たちの重点的な取組 >

- 優秀な女性研究者の数の拡大を目指し、教員公募において全国からの女性研究者の応募を期待し、優秀な女性研究者を積極的に登用すること。
- 女性研究者の優れた教育研究の取組を積極的に支援すること。
- 男女共同参画の視点に立った教育・研究環境及び就業体制を確立すること。
- 大学の構成員の教育・研究・就業と家庭生活との両立を支援すること。
- 女性のキャリア形成と次世代の育成にかかる取組を充実すること。
- 大学運営における意思決定過程での女性の積極的な参画を推進すること。
- 男女共同参画の推進にむけた大学をはじめとする関係機関のネットワークを構築すること。

平成23年2月22日

徳島大学長 香川 征
鳴門教育大学長 田中 雄三
香川大学長 一井 眞比古
愛媛大学長 柳澤 康信
高知大学長 相良 祐輔

高知大学における男女共同参画の基本理念・基本方針

平成24年2月8日制定

< 基本理念 >

男女共同参画社会基本法（平成11年6月制定）は、男女共同参画社会の実現を21世紀の我が国社会を決定する最重要課題であると位置づけています。

男女共同参画社会とは、「男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会」を意味しています。

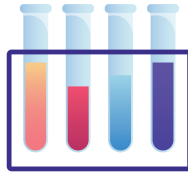
このように男女共同参画が社会全体として目指される転換期において、大学には、教育と職場環境における男女共同参画を阻害する偏見や差別、仕事と私生活との両立の困難など、社会が抱える多面的な課題の解決に向けて積極的に取り組むことが要請されています。学知の探求の拠点として、次世代育成の母体として、さらには地域社会の発展の基盤として、大学は、男女共同参画社会を実現するための先進的なモデルを提示すべき立場にあります。

高知大学は、「男女共同参画を大学で実践し、教育につなげ、そして社会にひろげる」という基本的な考えのもと、男女双方にとって、学びやすく働きやすい場、個性と能力をよりいっそう発揮できる場を形成することに努めます。そして、学問の府として、男女共同参画社会の形成に寄与する責務を果たします。そのため次の基本方針を掲げ、男女共同参画社会の実現に向け着実に歩みを進めます。

< 基本方針 >

- 男女がともに生き活きと能力を発揮できる職場環境・教育環境を築く
- 男女共同参画の教育を充実させ、男女共同参画社会の形成に寄与する人材を育成する
- 男女共同参画社会の実現をめざし、大学での実践を社会に向け発信する





Vita-min
the Station for Vitalizing Your Challenging Mind

高知大学女性研究者ロールモデル集

国立大学法人 高知大学 男女共同参画推進室
男女共同参画支援ステーション Vita-min

the Station for Vitalizing your challenging Mind

〒780-8520 高知県高知市曙町二丁目5番1号 URL: <http://www.kochi-u.ac.jp/sankaku/>
TEL: 088-888-8022 FAX: 088-888-8023 E-Mail: sankaku@kochi-u.ac.jp